

## 会 議 報 告 書

- 【会 議 名】 第1回 三朝町生涯学習推進プラン(仮称)策定委員会  
【日 時】 令和6年5月23日(木)午後7時から午後8時30分まで  
【場 所】 役場第2会議室  
【出 席 者】 (1) 策定委員 11名(2名欠席)  
(2) 事務局 2名

### 【開会前】

開会に先立ち、出席委員へ西田教育長より出席委員(9名)へ辞令を交付。

### 【報告事項】

事務局より、策定委員会設置要綱第6条第2項に基づき、委員の半数以上の出席を確認し、本会の成立を報告。

### 【会議内容】

- 1 教育長挨拶 ※議事録参照
- 2 委員の紹介(自己紹介)
- 3 委員長及び副委員長の選出について  
事務局提案として、会長に長岡絵里佳委員(鳥短准教授)、副委員長に小椋千秋委員(町社会教育委員会委員長)が出席委員の承認により決定した。
- 4 三朝町教育委員会からの諮問について  
西田教育長より長岡委員長へ別紙のとおり諮問を行った。
- 5 議題
  - (1) みささ生涯学習推進プラン(仮称)の計画骨子(案)について  
(社会教育課長による概要説明)※委員からの質疑・意見等は議事録参照
  - (2) 社会教育・生涯学習に関する町民意識調査について  
(社会教育課長による概要説明)※委員からの質疑・意見等は議事録参照
  - (3) その他  
委員、事務局とも特になし。  
次回の会議は町民意識調査の取りまとめができ次第(7月中旬頃)、開催する。

以上

# 三朝町生涯学習推進プラン（仮称）策定委員会 議事録

日時：令和6年5月23日（木）  
午後7時～午後8時30分  
場所：三朝町役場 第2会議室

## 1. 西田教育長あいさつ

皆さん、この度は三朝町生涯学習推進プラン（仮称）策定委員を快く引き受けてくださり、ありがとうございました。

三朝町の生涯学習は、昭和59年に文部省の指定を受けてスタートし、昭和63年には「生涯学習の町」宣言が議会で議決され、平成10年に「生き生きプラン21」を策定し、これを中心にこれまで生涯学習の取り組みを続けて参りました。

毎年（教育委員会では）、教育計画を作り（各教育委員会事業を）進めておりますが、世の中の動きを考えると、生涯学習の考え方というのは、もう1回おさらいをし、組み立て直す必要があるんじゃないかと思っています。

確かに様々な社会情勢が変わり、DX…学校でもタブレットを導入した学習もどんどんしてきていますし、地域社会においてもスマホを利用した特殊詐欺等、いろいろあるわけです。そんな世の中で、子ども達が幸せに暮らせるまちづくりをするということは、大人達も幸せでなくては、いい環境は作っていけない、考えていけないというような思いもございまして、このタイミングでもう一度生涯学習について、皆さんと協議し三朝の進むべき姿を考えていただきたく思います。

特に人口減少と過疎化…スローライフという言葉もありますように、田舎暮らしの良さもあるはずですし、経済一辺倒ではなくて、日本遺産の六根清浄と六感治癒というテーマもあります。

そのようなことをひっくるめて、コミュニティスクールを動かす中で、地域と学校と家庭がどうやって幸せな地域社会を実現させていくか…そんな漠然とした思いから、皆さんにいろんなご意見をいただいて、検討していただきたい。

本日は、アンケート調査もしていきたいということで、課長から提案があるかと思えますけど、町民の意識調査も含めて、三朝が更に持続可能な町としてやっていくため…そのような漠然とした計画ではありますが、御検討いただきたいという思いです。

1年間ちょっとの任期ですがフリーにトークいただいて、事務局でまとめるのが困るような話になっても、それは仕方がないと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

## 2. 委員長・副委員長の選出

- ・出席委員から事務局案を求める意見あり。
- ・事務局案として、委員長 長岡絵里佳 委員、副委員長 小椋千秋 委員を提案。
- ・出席委員の満場一致で事務局案のとおり承認された。

## 3. 教育委員会からの諮問

西田教育長から長岡委員長に対し諮問書により伝達

## 4. 委員長あいさつ

委員長としてどこまで出来るかという不安はありますが、皆さんのご経歴等を伺って心強く感じております。どうぞよろしくをお願いします。

## 5. 議題（進行：委員長）

### （1）みささ生涯学習推進プラン（仮称）の計画骨子（案）について

#### 【事務局】

（資料1～7ページのとおり説明）

一先ず概要につきましては以上ですが、計画の骨子案について御意見がございましたら、お願いします。

#### 【委員】

生涯学習の今までのプランがちょっと蔑ろになっているように感じます。

地区公民館が地域協議会に移行して15年くらい経過しました。地区公民館時代は一生懸命に生涯学習に取り組んでいましたが、地域協議会に移行されてから、何となく生涯学習という部分が、削ぎ落されているようになったのではないかと感じます。

以前のような生涯学習、地域の人たちが集まって、いろんな学習をしたり、わいわいがやがやしたりとか、そういう「学びの場」みたいなものが今はほとんどないと思うんですね、地域協議会の中に。

だから、昔だったら生け花教室、料理教室とか、いろんなことを月に何回か集まっていたのが、今、何故無くなったのかっていうと、地域が高齢化したからなのか、人口が減ったからなのか、それとも社会の仕組みが変わったからなのか。そこを考察してみないと、今後、このプランがうまく機能していくのかっていうところがあると思います。

#### 【委員長】

今、理由として高齢化や人口減少というものが挙がりましたが、それ以外として私が感じたのは専門的知識を持って地域を引っ張るリーダー的存在がいるのかどうかという事もあるかなと思います。

最近、社会教育士という資格が比較的取得しやすいので、それを取った人をリーダーとして地域で活躍してもらおうという動きが進んでいるんですけど。

社会教育主事という資格もありますが（取得するのに）結構大変なんですよ、1～2ヵ月くらい集中講義を受けて…。それを少し取りやすくしたのが社会教育士です。倉吉市では公民館（コミュニティーセンター）関係者に積極的に取ってもらうようにしているのですが、そういうやり方もあるかなと。

#### 【副委員長】

昔と今を単純に比較してはいけないとは思いますが、昔はとにかく集まって何かに取り組んでいましたよね。その中には躰があり、いろんな教育的なものが先輩、後輩の関係で出来ていた。でも、最近では人と関わることよりも、1人が好き、人からいろいろ言われたくないという社会になってきています。静かに（生活したい）ということも幸せのひとつなんですよ、その方たちにとってはね。

人付き合いの仕組みが昔と比べて、集まって話し合いをする機会が少なくなっています。だから無理やり作らなければならないというような気がしています。作ってあげないと来ないというかね。

#### 【委員】

以前は公民館が寺子屋みたいなイメージで、修繕の方法を教える、教育もする、裁縫も教えるとか、その分野に特化したリーダーがいましたから、例えば子育てにしてもそこに行けば何となく教えてもらえるというところなんですけれども、今は自分で専門的に教えて欲しいことチョイスできる方法とか場所があると。

現在もいろんなところで集まりはありますが、以前は1箇所（公民館）に行ったらいろんなことができるということから、専門的に細かなことをしたいっていう集まりが選択できたので、

それぞれで集まっているんだけど、自分の興味がないところは見えていないので、例えば「パソコンならパソコン」、「子育てなら子育て」と分野ごとに完結してしまう。今は世の中が IT 世界で（興味のあることを）選ぶことが出来るが、それぞれ単体の活動なので見えにくい世界になってきているのではないかなと感じます。

皆さんが自家用車で移動出来て行動範囲も広がっていることから活動拠点が三朝町だけではなく、広域化・分散化していることも町内の活気が無い要因ではないかなと思いました。

#### 【委員長】

「見えにくい」という観点から思ったのが、公民館が以前は各団体のコーディネートをしていた、仲介役・連絡係として把握していたという事もあったと思いますが、そういうことがないと（地域が）全然何をしているのか分からなくなるのかなと。

#### 【委員】

地域協議会と集落の公民館に大きな差があるような気がするんです。

集落でやりたいことをこれまでやってきていましたが、地域協議会とも事業がダブったりしてしまって集落の活動をしなくなってしまうということがありました。

どこの集落も新しい公民館になっていますが、普段の活用が少なくなっていると思います。もったいないなど。

今後は人口も減ってきますし、集落の公民館を維持できなくなってしまうのではないかと心配しています。

田んぼをしなくなる家も多くなっていますし、これも地域の悩みです。地域が活性化することが第一ではないかと思っています。

#### 【委員】

生涯学習の意識が薄れてきたというのは地区公民館から地域協議会に移行した辺でちょっと歯車が狂っちゃったかなと、個人的には思います。

教育委員会部局から町長部局へ移行となり、そこで生涯学習的なところが希薄になってしまったのかなと思っています。

地域協議会の中には、公民館活動をしていただいているところもありますが、地域協議会の事業に教育委員会から、どうこう言えるものではないと思いますし。

#### 【委員】

私も同意見です。

以前は教育委員会の生涯学習課（現：社会教育課）が生涯学習のことを教育委員会がどんどん進めていたと思うんですね。

ところが、町長部局に移行して担当課が生涯学習的な考え方をしておられるかって言うと、しておられる部分もあるかもしれないけど、この生涯学習の計画策定のことについても、地域協議会がもっとどんどん関わっていかないといけない部分だと思うんですよ。

極論ですが、地域協議会は教育委員会所管とすべきだと思います。

#### 【委員長】

ちょっと疑問なんです、（地域協議会については）教育委員会は全く関与されない感じですか？

#### 【事務局】

地域協議会の活動については、町長部局に移行されてから、各地域協議会に補助金として予算が割り振られ、その中で協議会の活動を進めてこられた経過があります。

教育委員会としてはコミュニティ・スクールや社会教育、生涯学習についての関連事業につ

いてアプローチしているという現状です。

#### 【事務局】

現状について担当からご説明をさせていただきますが、当課が主となって地域協議会に対してお話をするという事は少なくなってきました。

ただし、全くそこで関わりがないかという事ではなくて、例えば、毎年の公民館主事の研修を案内させていただいたり、社会体育の関係で体育協会やスポーツ推進委員等、地域に根づいた活動をしていただく団体、委員を各地域協議会から推薦いただき、参画してもらうのですとか。

または当課の事業でも、一緒に何かやりませんかというアプローチを個別にさせていただいています。

ただ、地域協議会の運営にまで関与することは難しいかなと担当レベルでは感じているところです。

ですが、先ほども申し上げましたように、事務局さん同士であったりとか、会長さん同士でいろいろ相談させてもらったりということは、継続して行っています。

#### 【委員】

縦割り行政的な部分はやはり未だあります。部局が違っていると、話をしにくいという雰囲気が。

#### 【委員】

地域協議会では会長会というのをやっていて、その会長会の中では「地域委員会のあり方検討会」を一昨年ぐらいから行っています。

今後の地域協議会のあり方について町長に答申するまでの規約を作って、やってみようというところまでやってきていて。

地域協議会のあり方の中に、生涯学習をどんどん力強く入れなきゃいけないのではないかと（答申の）案としてはできています。

でもそれは、地域協議会もそれぞれ事情がありますので一斉にやりましょうというわけには。

#### 【委員長】

今後の（地域協議会の）体制について、どうした方がいいのかっていう提案を盛り込めればいいかなとは思っています。

先ほどおっしゃっていただいたように、所管がどこにあるべきなのか、或いは現状の体制の中で生涯学習をもっと盛り込んでいくのか。他にも方法はあるかもしれませんが。

#### 【委員】

竹田地域協議会の代表として出席していますが、町内には6つの協議会があります。

竹田地域は13集落あって、そのうち6集落ぐらいはもう公民館・集落活動ができないような状況になっています。3～4つは、集落の活動も盛んだけど、地域協議会そのものは人口が減って疲弊しているという状況にあります。

先ほどから地域協議会の活動について意見がでていますが、そうであっても活動できません。役場全ての課と話を進めていかないと。教育だけの話ではありません。

町民のための生涯学習をするなら、それぞれの地域の特性もあるだろうから、それぞれの地域のメンバーがいたほうが良いと思えますが。

竹田地域協議会のことで言うと、竹田の住民のことだけを考えて行動していたら地域協議会も無くなります。町全体のことを考えないといけないだろうし。

町として、町民に対して生涯学習をやってください、やりましょうという投げかけのプランを作るのか。町民一人ひとりが何らかの生涯学習を、日々感じながら生涯を終えていく教育体制が感じられるものとするのか、ということで（プランの意味は）違って来るなど。プランを

与えるのか、町民一人ひとりが感じるができるものとするのかという。

僕は今生きている方々は、日々何かしらの学習をしながら生きていると思っています。料理一つを覚えるのも学習でしょうし、生活するのに新しいもの（情報）を得て、生活している。だったら、それは生涯学習をしながら生きているという実感は無いかもしれませんが、やってらっしゃると思う。

そういうものをどんどん、拾い上げられるような、こんなことやっていこうというようなこと（意欲）が湧き上がってくるようなプランじゃないといけないと思います。そういうものが出来たら良いなと思いますね。

#### 【副委員長】

今の意見で思い出しました。ケネディ大統領の言葉で「あなたの国があなたのため に何ができるかを問うのではなく、あなたがあなたの国のために何ができるかを問うてほしい」と。

要は国民がその国に対して何をしてくれるのかという。基本はやはりそのことだと思います。

#### 【委員】

町だけの話ではないですよ。僕が今やっていることは県の事だし、中四国の事だし、全国の事もやっているわけです。

そういうのは、町だけの話になったら町で終わってしまうし。僕らは町だけのことを考えてって駄目だなと思いますし、個人が世界に向いているような生涯学習を考えている人もいるだろうし。そういう事がプランに出てきたらいいと思いますけどね。

#### 【委員長】

次の議題にもあります意識調査で、町民の姿をもう少し具体的にしていけば、もう少し三朝町らしい計画になるかと思います。絵にかいた餅にならないような計画作りを目指していきたいと思います。

## （2）社会教育・生涯学習に関する町民意識調査について

#### 【事務局】

（資料8ページ及び別冊資料のとおり説明）

調査項目案において、こういった語句を追加した方がいいですとか、内容についてもう少し掘り下げて聞いてみたらどうかというようなご意見をいただければと思います。

以下、各調査項目について、審議を行った。

※項目についての審議であり議事録は省略します。

## 6. その他

#### 【事務局】

先ほど、ご審議いただきました意識調査の項目を修正後、6月中旬に調査を実施する予定です。次回の委員会については、回答の取りまとめができ次第、7月中旬頃に、第2回策定委員会を開催したいと思います。

以上